



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月10日
東

上場会社名 細谷火工株式会社 上場取引所
 コード番号 4274 URL <http://www.hosoya-pyro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細谷 穰志
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 浜中 綱雄 (TEL) 042-558-5111
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	614	△14.4	77	△42.9	75	△43.7	51	△37.9
26年3月期第2四半期	717	35.7	135	17.4	134	20.8	82	19.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第2四半期	12.73		—					
26年3月期第2四半期	20.48		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,950	1,922	65.1
26年3月期	2,996	1,884	62.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,922百万円 26年3月期 1,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	6.00	6.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,368	△13.5	105	△36.7	100	△38.5	59	△42.2	14.85
	~1,672	~5.7	~195	~17.5	~185	~13.8	~110	~7.8	~27.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想につきましては、火工品業界を取り巻く環境が厳しく、適切な予想の開示が困難であるためレンジ形式で表記しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	4,032,000株	26年3月期	4,032,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	24,896株	26年3月期	24,421株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	4,007,246株	26年3月期2Q	4,007,659株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税による需要の反動や、円安による物価上昇懸念及び夏の異常気象などの影響で個人消費等に落ち込みがみられたものの、政府の積極的な経済・金融政策により下支えされ、さらにこれから順調に回復基調をたどれるのかどうか、未だに先行きについては不透明な状況となっております。

このような経営環境の下、当社は海上での緊急時に使用する耐水圧発煙筒「ダイバーマーカSOS」を開発し、期初より鋭意営業活動を展開しているところです。

当第2四半期累計期間の売上高につきましては、主力の火工品事業において、陸上自衛隊向けの訓練用火工品受注数量が前年同期に比べ減少したことや、前期に売上増加に貢献した一部民間向け火工品の受注がなく、前年同期に比べ103百万円の減収となり、それに伴い利益面においても減益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高614百万円（前年同期比14.4%減）、営業利益77百万円（前年同期比42.9%減）、経常利益75百万円（前年同期比43.7%減）、四半期純利益51百万円（前年同期比37.9%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① 火工品事業

当第2四半期累計期間の火工品事業は、前年同期に比べ陸上自衛隊向けの火工品受注量の減少や、民間向け火工品受注が伸びず、売上高は539百万円（前年同期比16.1%減）となりました。

セグメント利益は、47百万円と前年同期と比べ56百万円（54.3%減）減少しました。

② 賃貸事業

当第2四半期累計期間の賃貸事業は、前年同期を超える収益を確保でき75百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

セグメント利益は46百万円と前年同期と比べわずかに（1.3%増）増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間の財政状態につきましては、総資産2,950百万円（前事業年度末比45百万円減）負債の部合計1,028百万円（前事業年度末比83百万円減）、純資産の部合計は1,922百万円（前事業年度末比37百万円増）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、前回発表（平成26年8月8日「平成27年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	719,861	485,054
受取手形及び売掛金	275,105	289,667
商品及び製品	43,001	23,696
仕掛品	79,884	226,262
原材料及び貯蔵品	136,537	164,331
その他	28,332	41,959
流動資産合計	1,282,723	1,230,972
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	324,162	312,278
土地	1,040,192	1,040,192
その他(純額)	154,277	162,355
有形固定資産合計	1,518,633	1,514,826
無形固定資産	48,483	47,258
投資その他の資産	146,342	157,789
固定資産合計	1,713,459	1,719,874
資産合計	2,996,183	2,950,847
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,601	39,314
短期借入金	549,030	530,662
未払法人税等	21,949	31,416
賞与引当金	38,610	39,167
その他	145,125	112,430
流動負債合計	810,317	752,991
固定負債		
長期借入金	52,308	42,016
退職給付引当金	73,314	69,030
役員退職慰労引当金	41,262	43,948
製品保証引当金	2,549	4,570
資産除去債務	9,342	9,342
その他	122,621	106,685
固定負債合計	301,397	275,593
負債合計	1,111,715	1,028,584

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	201,600	201,600
資本剰余金	18,121	18,121
利益剰余金	1,627,629	1,654,600
自己株式	△11,131	△11,307
株主資本合計	1,836,219	1,863,013
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,249	59,248
評価・換算差額等合計	48,249	59,248
純資産合計	1,884,468	1,922,262
負債純資産合計	2,996,183	2,950,847

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	717,590	614,234
売上原価	456,817	396,104
売上総利益	260,772	218,130
販売費及び一般管理費	125,579	140,913
営業利益	135,193	77,217
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	1,044	1,229
雑収入	2,708	1,420
営業外収益合計	3,754	2,651
営業外費用		
支払利息	2,632	2,338
休止固定資産関係費用	1,949	1,691
雑損失	1	147
営業外費用合計	4,583	4,177
経常利益	134,364	75,691
特別利益		
保険差益	-	3,946
特別利益合計	-	3,946
特別損失		
固定資産除却損	320	-
特別損失合計	320	-
税引前四半期純利益	134,043	79,637
法人税、住民税及び事業税	53,871	29,580
法人税等調整額	△1,923	△958
法人税等合計	51,947	28,621
四半期純利益	82,095	51,016

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	134,043	79,637
減価償却費	30,663	32,075
受取利息及び受取配当金	△1,045	△1,231
支払利息	2,632	2,338
売上債権の増減額 (△は増加)	99,716	△14,210
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△100,825	△154,866
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,679	△16,287
賞与引当金の増減額 (△は減少)	721	557
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,747	2,686
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	501	2,021
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△6,458	△80
その他	△36,568	△40,431
小計	104,447	△107,791
利息及び配当金の受取額	1,045	1,231
利息の支払額	△2,434	△2,575
法人税等の支払額	△53,260	△20,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,797	△129,296
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,160	△36,505
無形固定資産の取得による支出	△933	-
投資有価証券の取得による支出	△370	△378
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,464	△36,883
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△450,000	△500,000
長期借入れによる収入	70,000	-
長期借入金の返済による支出	△63,344	△28,660
リース債務の返済による支出	△648	△640
自己株式の取得による支出	△54	△176
配当金の支払額	△20,088	△23,683
建設協力金の返還による支出	△15,465	△15,465
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,399	△68,626
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	25,733	△234,806
現金及び現金同等物の期首残高	599,562	719,861
現金及び現金同等物の四半期末残高	625,295	485,054

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	火工品事業	賃貸事業	計	
売上高	642,659	74,930	717,590	717,590
セグメント利益	104,069	45,783	149,853	149,853

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	149,853
全社費用(注)	△14,659
四半期損益計算書の営業利益	135,193

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	火工品事業	賃貸事業	計	
売上高	539,193	75,041	614,234	614,234
セグメント利益	47,526	46,367	93,894	93,894

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	93,894
全社費用(注)	△16,676
四半期損益計算書の営業利益	77,217

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。